

横断歩道橋のあり方の検討

平成25年2月1日

静岡県 交通基盤部 道路局

県民くらし満足度日本一の実現に向けて“みちづくり”

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

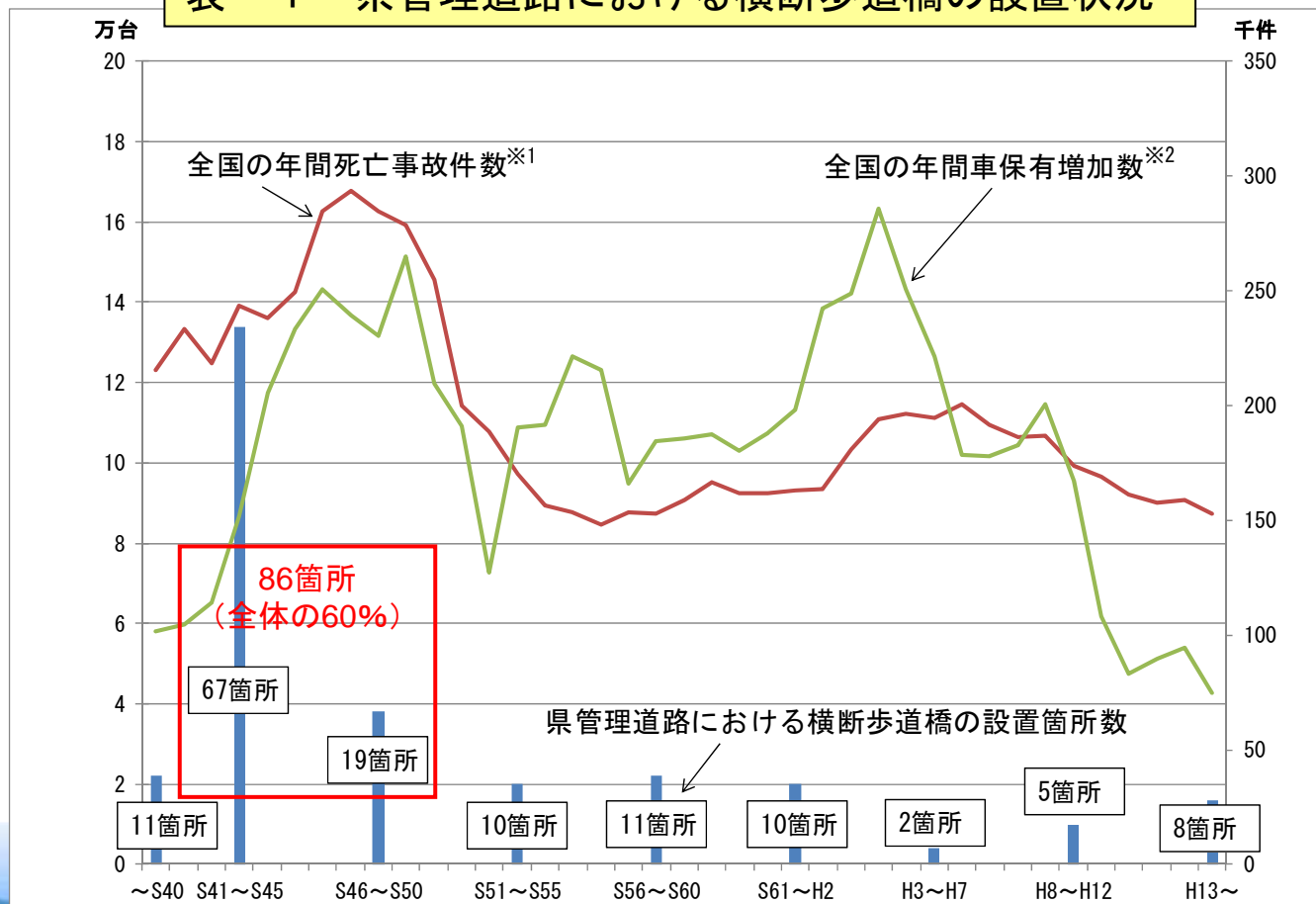
1

「横断歩道橋のあり方の検討」

○横断歩道橋設置の背景

昭和40年代以降、急激に車の保有台数と交通事故の発生件数が増加したことから、歩行者の交通安全の確保と自動車交通の円滑化との両立を目的に、全国で横断歩道橋等の設置が進められてきた。

表-1 県管理道路における横断歩道橋の設置状況



現在、県管理道路には「横断歩道橋」が143箇所

に設置されている。その内、全体の60%にあたる86箇所の横断歩道橋が、昭和41年から昭和50年の10年間に設置されている。

※1 出典: 警察庁交通局資料

※2 出典: 国土交通省資料



「横断歩道橋のあり方の検討」

○横断歩道橋の設置状況

表－２ 横断歩道橋設置数（県管理道）

土木事務所	横断歩道橋（箇所）		
	階段	スロープ	押し上げ
下田	6	1	
熱海	7		
沼津	22	1	
富士	28 (2) ※1		1
島田	39	1	2
袋井	24	2	3
浜松	4		2
計	130	5	8
	143		

※1:()内は昇降機（エレベータ）を併設した箇所数

階段式



押し上げ式



スロープ式



※「道路の移動円滑化整備
ガイドライン」
傾斜路の勾配：8%以下

昇降機併設型



富士宮駅前（県道富士宮停車場線）の事例
駅前周辺が「バリアフリー重点整備地区」に
指定されたことから、歩行者の利用が多いな
どの理由により特定経路に位置付けられた
横断歩道橋について、昇降機（エレベータ）
を併設した。

「横断歩道橋のあり方の検討」

○横断歩道橋を取り巻く社会環境の変化

■少子高齢化

- ・小学校の統廃合や通学路の見直しに伴い、通学路として利用されなくなった横断歩道橋が増加している。
- ・高齢者の増加に伴い、利用者が減少している。

■土地利用状況の変化

- ・公共施設の移転など沿道や周辺の土地利用状況の変化に伴い、利用者が減少している。
- ・近隣への信号機や横断歩道の設置に伴い、利用者が減少している。
- ・周辺道路の整備に伴い、道路の自動車及び歩行者の交通量が減少している。

横断歩道橋の利用者数の減少

■バリアフリー新法の制定(H18)

- ・誰もが安全で快適に移動できる歩行空間の整備(バリアフリー化)に対する社会的ニーズの高まり

誰もが移動しやすい歩行空間の確保

■横断歩道橋撤去の要望の増加

平成20年度以降、県内4箇所において地元から撤去要望が出されており、今後、同様の要望が増加していくと予想される。

「横断歩道橋のあり方の検討」

○近年の横断歩道橋に係る地元要望と対応状況

黄瀬川歩道橋(沼津市)撤去の事例(H21)

◆地元からの撤去要望

- ・階段式のため、利用しづらい。
- ・通学路として利用していない。
- ・利用者が少ない。
- ・老朽化が進んでいる。
(昭和42年設置)



◆地元・警察等との協議

- ・撤去後の安全対策

◆横断歩道橋の撤去

(道路管理者)

◆安全対策の実施

(警察:横断歩道設置)



※老朽化の状況

※老朽化の状況

日吉歩道橋(沼津市)撤去の事例(H20)

◆地元からの撤去要望

- ・階段式のため、利用しづらい。
- ・交差点に既存の横断歩道があるため、
利用者が少ない。



◆地元・警察等との協議

- ・撤去後の安全対策

◆横断歩道橋の撤去

(道路管理者)

◆安全対策の実施

(警察:横断歩道設置)



「横断歩道橋のあり方の検討」

○今後の対応

【これまでの対応】

地元から横断歩道橋撤去等の要望があった場合、個別に存続や撤去の判断をしたうえで対応していた。



【検討の必要性】

横断歩道橋を取り巻く社会環境の変化に伴い、今後、撤去の要望が増加することが予想されることから、県全体の統一した考え方を整理する必要がある。



【横断歩道橋のあり方の検討】

地元から撤去の要望があった場合や、老朽化に伴う更新時において、横断歩道橋の存続や撤去の判断の基となる「ガイドライン」を策定

○検討スケジュール（案）

第2回 静岡県道路技術審議会 (H25.2.1)

【検討内容】

◇「横断歩道橋のあり方の検討」の背景



第3回 静岡県道路技術審議会 (H25.上半期)

【検討内容】

- ◇他の自治体の取組状況の報告
- ◇県内の横断歩道橋の状況の報告
 - ・利用状況
 - ・劣化状況
 - ・撤去に係る地元要望
 - ・撤去の事例



第4回 静岡県道路技術審議会 (H25.下半期)

【検討内容】

◇「ガイドライン」(案)の提示

審議会における検討